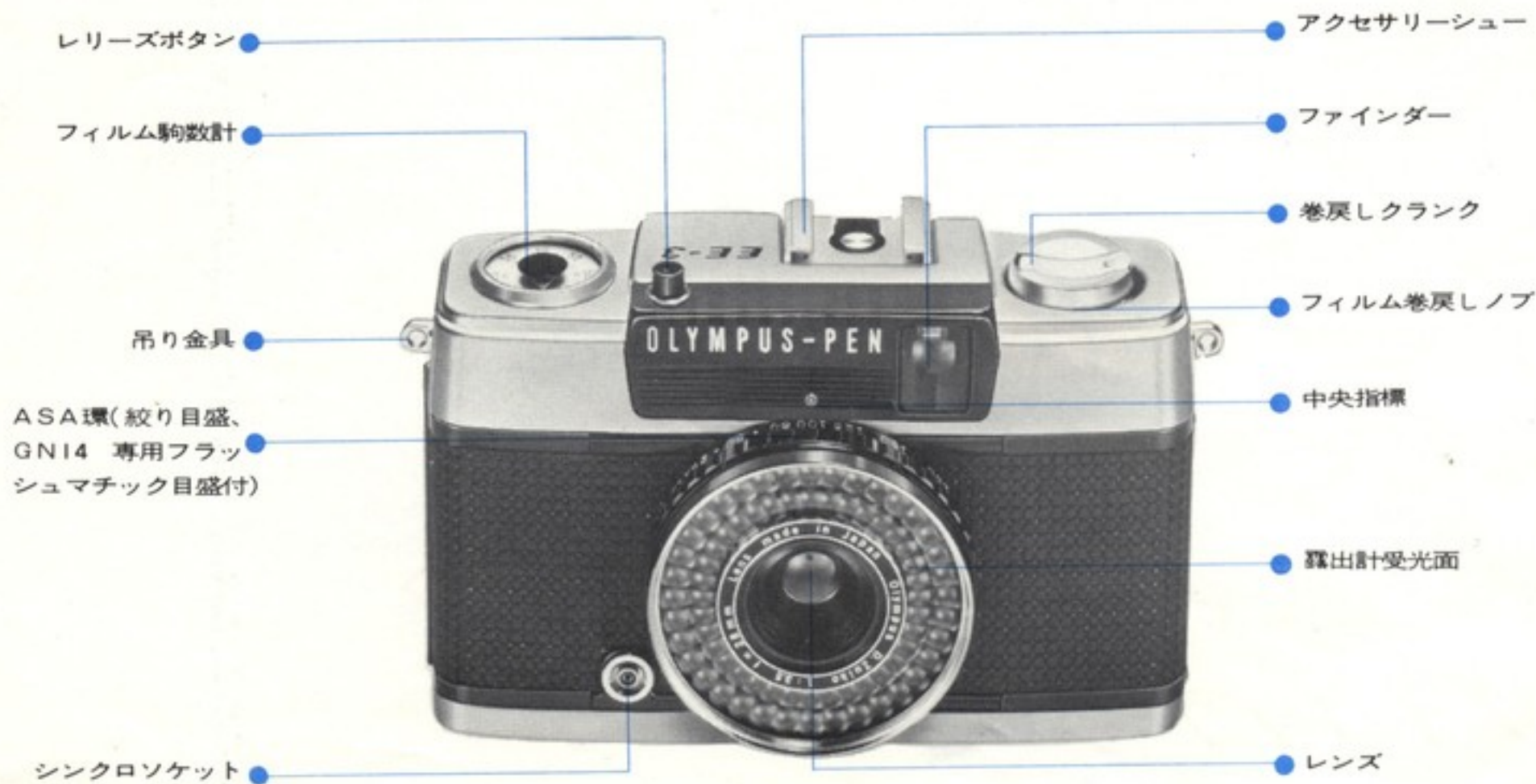


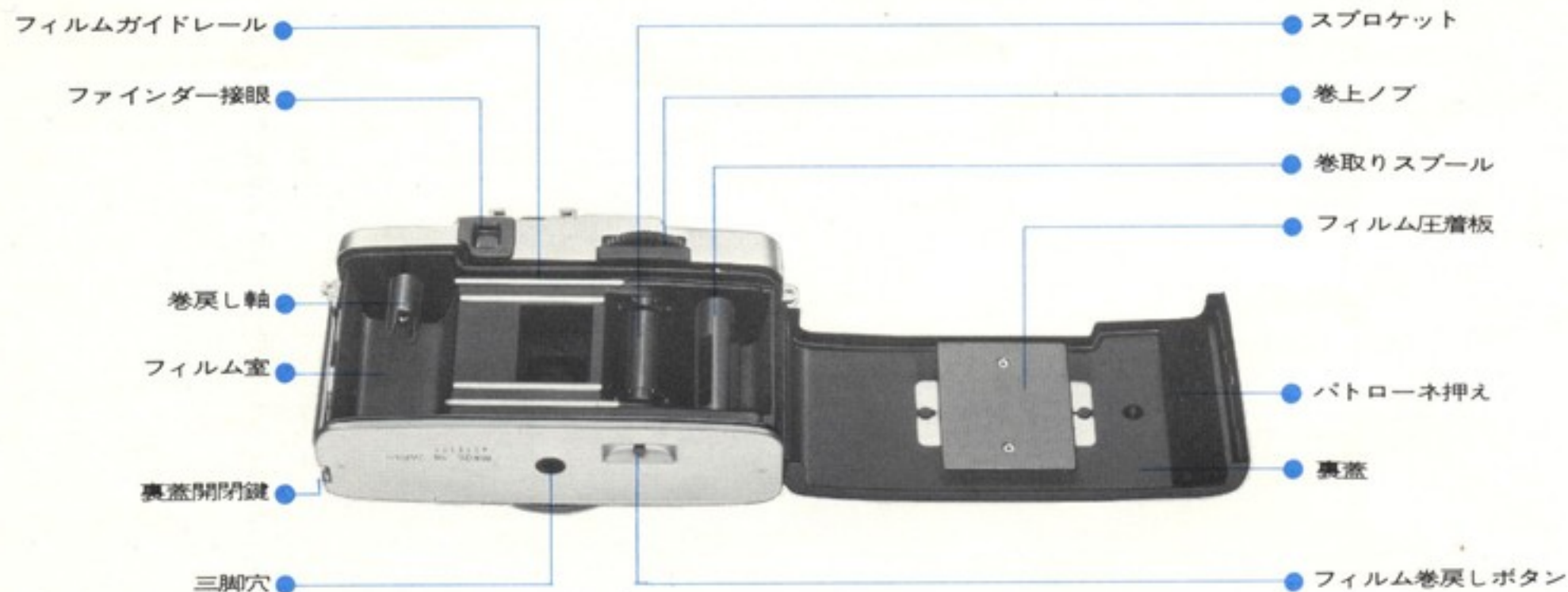
— 使用説明書 —

# OLYMPUS PEN *EE-3*

OLYMPUS OPTICAL CO., LTD. TOKYO, JAPAN

この説明書をひろげて、実際カメラを手にして、写真を見ながらお読み下さい。  
写真にある手の位置がカメラの正しい使いかたですから、よく注意してごらん下さい。





**■おもな性能\*\*\*\*** ●レンズ：DズイコーF3.5 f=28mm(3群4枚) ●シャッター：オリンパスシャッター、(自動)プログラム式E  
 E ( $\frac{1}{50}$  秒・ $\frac{1}{250}$  秒)、(フラッシュ用) $\frac{1}{50}$ 秒、シンクロX接点 ●フラッシュ絞り目盛：F 3.5~22 ●GN 14専用フラッシュマチック目  
 盛：1、1.5、2、3、4 m ●ファインダー：ブライトフレームファインダー 0.5倍、不適正露出時赤警告マーク付 ●フィルム装てん：E  
 Lシステム(イージー・ローディング) ●フィルム巻上：リヤーワインディング、セルフコッキング、自動巻止、二重露出防止、二  
 重巻上防止 ●フィルム駒数計：順算式、自動復元 ●フィルム巻戻し：クランク式、巻戻しボタンセット式 ●ピント調節：固定焦点式  
 (1.5 m ~  $\infty$ ) ●露出調節：露出計による自動調節(EE)、露出不足時レリーズロック装置付、GN 14専用フラッシュマチック装置付 ●  
 EE可能範囲：EV 8.5~EV 17(ASA 100) ●フィルム感度目盛：ASA 25~400 ●裏蓋開閉：蝶番式 ●アクセサリシュー：ダ  
 イレクトコンタクト接点付 ●大きさ・重量：108(巾)×66(高)×42(厚)mm、335gr \*\*\*\*\*

撮影する前には、忘れずにレンズキャップをはずして下さい。

### 1. まずフィルム感度をはずします。

ASA環(絞り環)を回して、フィルム感度(白い数字)を中央指標からはずし、適当な絞り数値(ダイダイ色の数字)に合わせます。

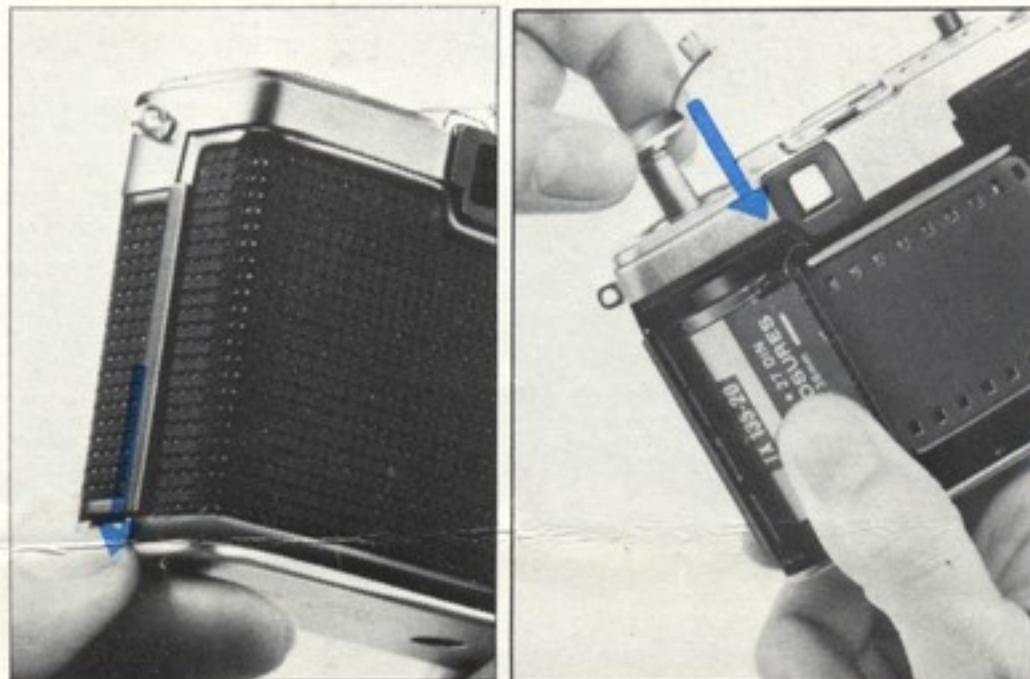
**E**lectric **E**ye

フィルムを入れるときフィルム感度をはずすと、EEシステム(自動露出調節機構)が解除になります。フィルム感度をはずす理由は、周囲が暗いとレリーズボタンが押せず、フィルムを入れる操作がスムーズに行われない場合があるからです。撮影をする場合には、必ず使用するフィルム感度に合わせて下さい。そうすれば、自動的に絞りとシャッタースピードの適切な組合せを選ぶEEシステムが働きます。

### 2. 裏蓋をあけて、フィルムを入れます。

裏蓋開閉鍵を下に引くと、裏蓋が自動的にあきます。次にフィルム巻戻しノブを上に出し、フィルムパトローネをフィルム室におさめ、フィルム巻戻しノブを元の位置に戻します。フィルム巻戻しノブが元の位置に戻らないときは、左右に少し回しながら押し込むと、楽にカチリと入ります。

※フィルムの出し入れは、直射日光をさけて行ないましょう。



### 3. フィルムがしっかり入っていることを確認し、裏蓋を閉じます。

左手でパトローネを軽く押さえながら、右手でフィルムを持って少し引出し、その先端を巻取りスプールの溝に差込みます。差込みやすい溝ならどれでも結構です。次に右手で巻上ノブを止まるまで回し、リリースボタンを押して空写しを行います。

フィルムのパーフォレーションが両側ともスプロケットの歯にしっかりかかることを、必ず確認してから、裏蓋を静かにパチリと閉じて下さい。ここで念のため巻戻しクランクを起し、矢印の方向にノブが重く感じるまで軽く回して、フィルムのたるみをとっておきます。

### 4. フィルム駒数計を1にします。

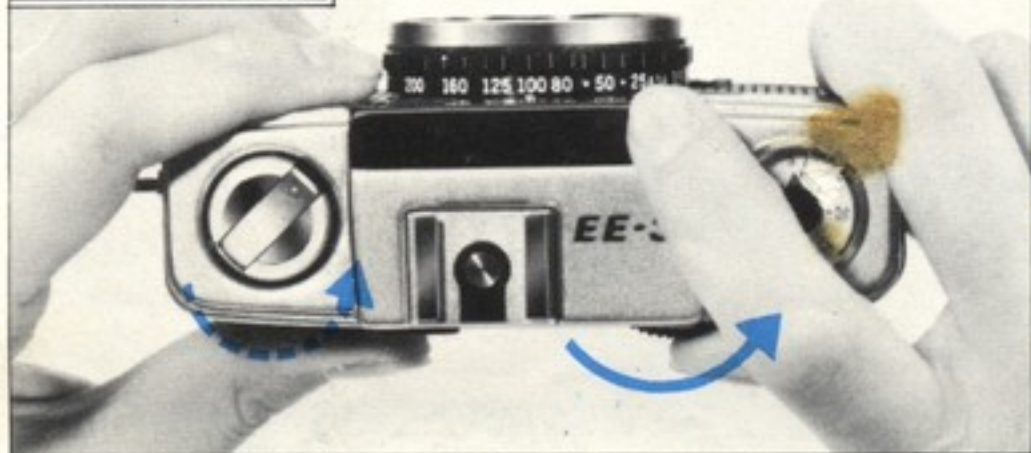
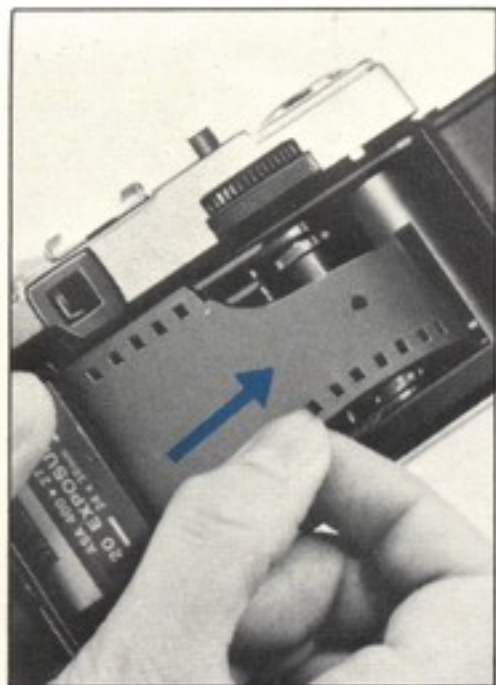
ここで更に“空写し”を3～4回行い、フィルム駒数計が1を指すようにします。ここから撮影に入ります。この空写しの途中で巻戻しノブが巻上につれて回っていれば、フィルムは正しく送られています。

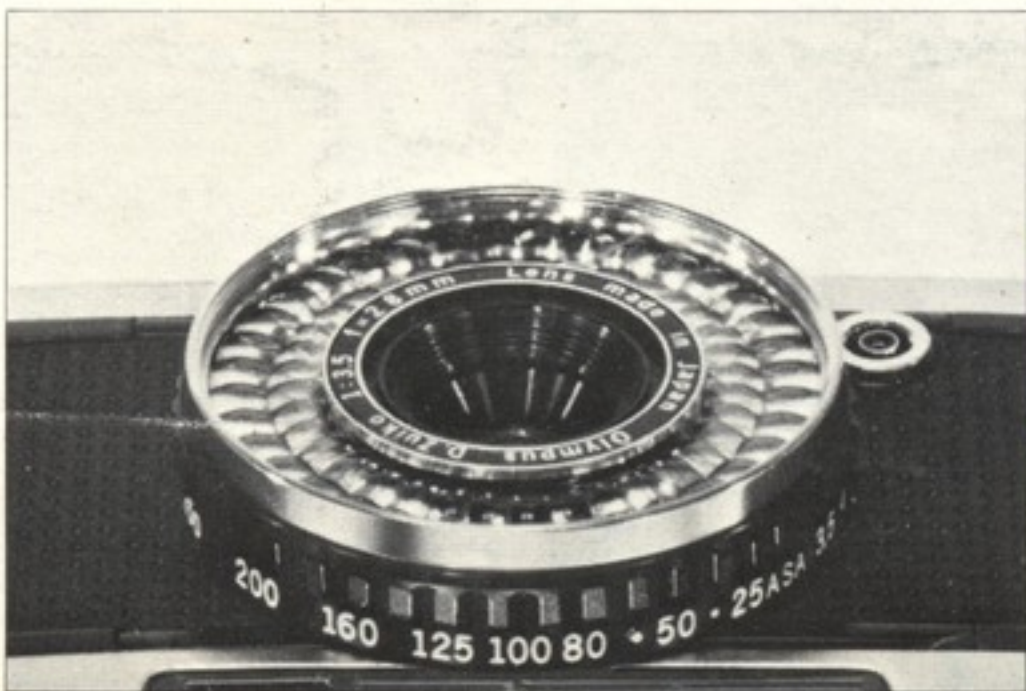


フィルム駒数計は順算式で、写し終わったフィルムの駒数を示します。目盛は2駒おきに刻まれ、1, 10, 20…60, 72と数字が打ってあります。撮影が終って裏蓋をひらくと、フィルム駒数計は自動的にS(スタート)の位置に戻ります。

# 3

# 4





## 5. フィルム感度を合わせます。

ASA環(絞り環)を回して、使用するフィルム感度(ASA)に合わせます。例えばSSフィルムなら100に合わせます。

# 5

# ASA

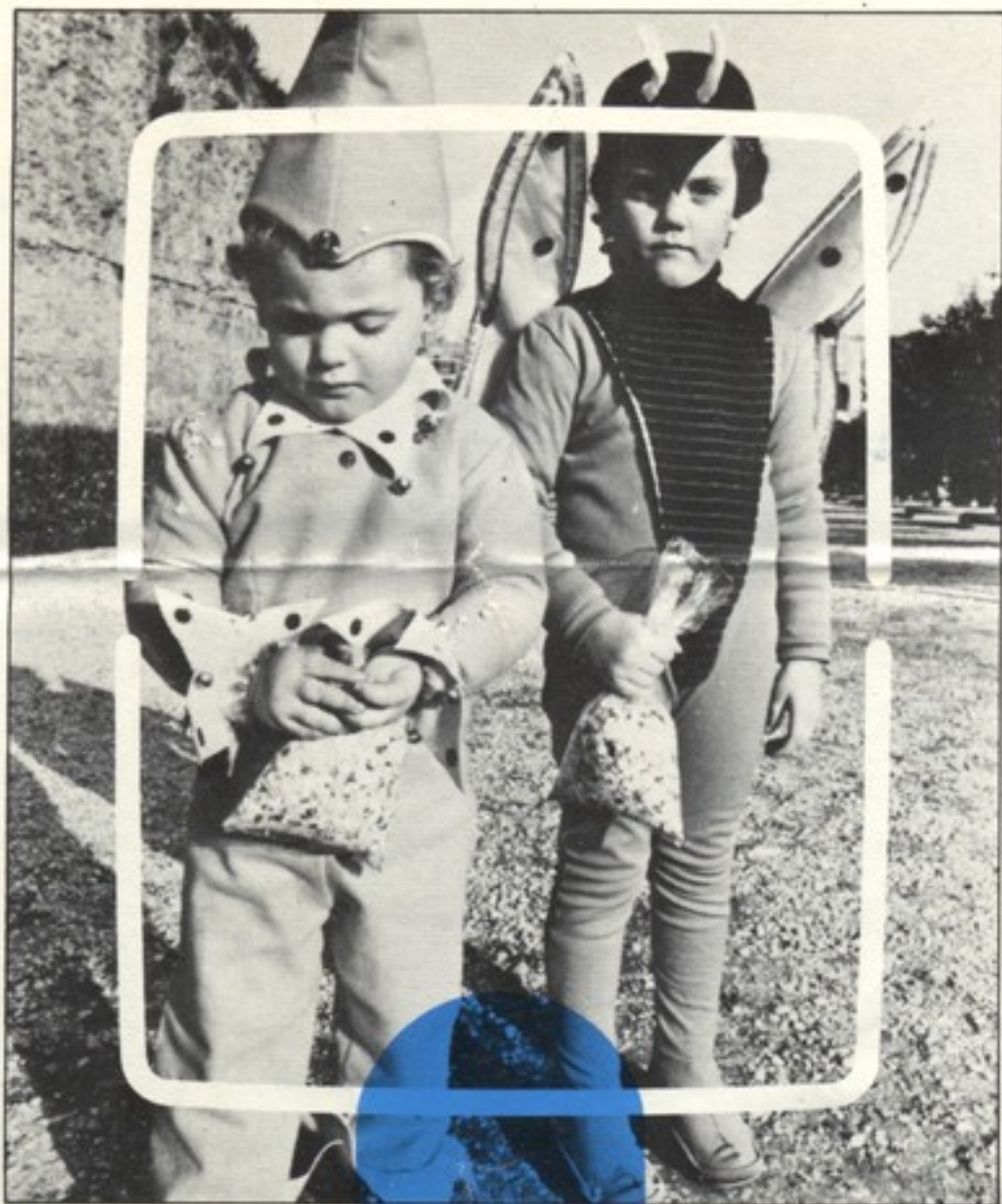
エイ・エス・エイあるいはアーサーと読み、最も一般的に使われているアメリカ規格のフィルム感度表示です。特にペンEE-3のようなEEカメラでは、フィルムの外箱に記載されているこのASA数値を間違えずにカメラにセットすることが、適正露出を得るための大切な条件になります。なおフィルム感度目盛のうち、25と50の間の白い点はASA32、50と80の間の白い点はASA64を表わしています。

## 6. ピントはカメラまかせです。

ペンEE-3は、いつでも1.5mから無限遠まで全部ピントが合うように設計された固定焦点式です。写すものは、1.5m以上はなれた距離のものを選んで下さい。

# 6

特に4m位の被写体が一番ピントがよく写るようになっていきますので、グループでの記念撮影やスナップ撮影では、非常によい写真がとれます。



## 7. ファインダーをのぞきます。

カメラをしっかり構え、ファインダーをのぞいて構図を決めます。写したい被写体が、ファインダーの白い光枠の内側一杯に入るようにして下さい。

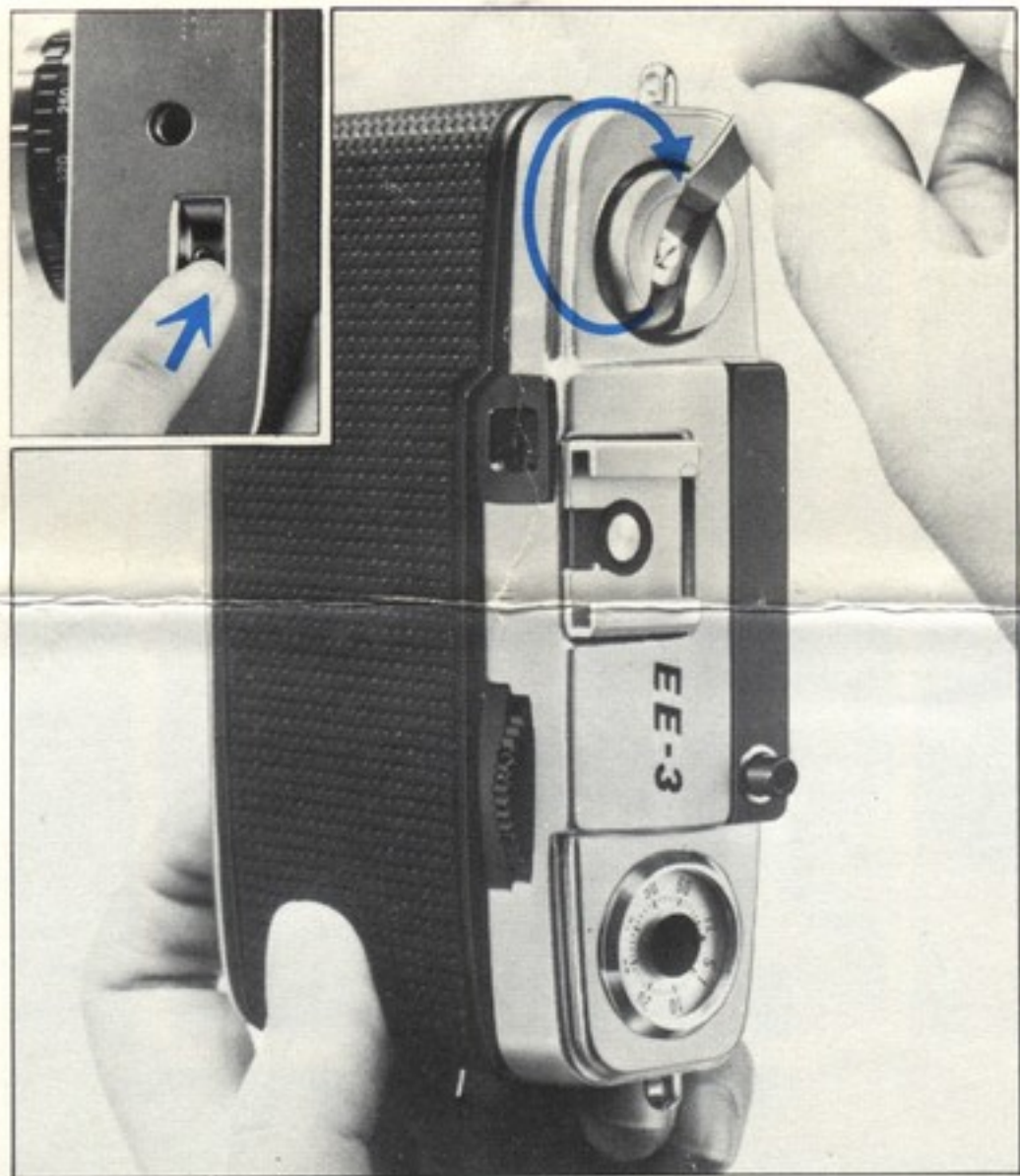
●写したいものが暗すぎて、EE(自動露出)の限界外ならば、赤いマークがでて警告を発し、シャッターは切れません。このような場合は、フラッシュ撮影をして下さい(フィルムを巻かなくても、リリースボタンを押して赤マークが出るかどうか確認することができます。)

●カメラは、下の写真のようにしっかり構えて下さい。特にリリースボタンを押すときは、指を立てずに、指の腹で静かに押し下げるのがコツです。



●ヨコ位置にカメラを構えるときは、両手をカラダにしっかりつけて下さい。

●タテ位置のときは、右手をカラダにしっかりつけ、左手でカメラが動かないように保持します。



## 8. フィルムを巻戻します。

撮影が終わったら、フィルム巻戻します。撮影が終わったかどうかは、フィルム駒数計が24(12枚どりフィルム)や40(20枚どりフィルム)または72(36枚どりフィルム)になったことでわかります。

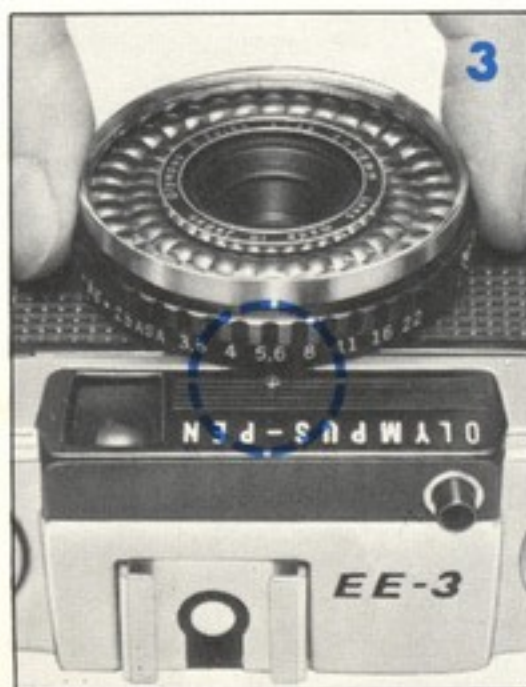
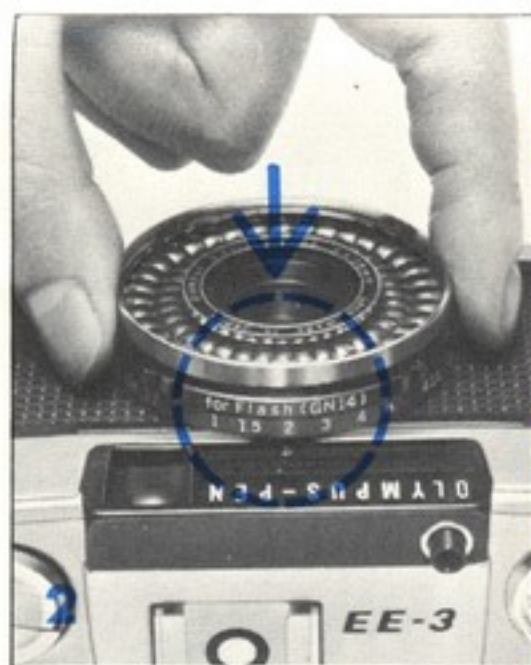
フィルムの巻戻しは、まずカメラ底部のフィルム巻戻しボタンを押込みます(押込むだけで、フィルムが巻戻せる状態になる巻戻しボタンセット式です。)

次に巻戻しクランクを起し、クランクの矢印の方向に回して下さい。フィルムを巻戻している間は、クランクが重く感じますが、フィルムが巻取られ、巻取りスプールからフィルムの先端が外れると急に軽くなります。なお、巻戻しの際は念のためレンズキャップを付けて巻戻した方が安全です。こうして巻戻したら、直接日光の当たらないところで裏蓋をあけ、フィルム巻戻しノブを引出して、フィルムを取出して下さい。

8



## フラッシュ撮影 (GN14専用フラッシュマチック)



- 赤い警告マークがでるような暗い被写体の場合には、フラッシュ撮影をしてください。ペンEE-3の場合には、ASA100でGN14専用フラッシュマチック機構付ですので、オリンパスPS200、PS200クイックを使うと大変便利です。
- カメラ上部のアクセサリシュー（コードレス接点付）に差込み、ASA環（絞り環）を回わしてフィルム感度をはずし、For Flash (GN14) のところの撮影距離目盛に合わせるだけで、絞りが自動的に決まり適正露出の撮影ができます。
- ASA100、GN14以外のフラッシュ撮影の場合は、ASA環（絞り環）を回わして被写体までの距離に応じた絞り数値（フラッシュ装置に付いている露出表、フラッシュバルブの箱に記載された数値を参照）に合わせてください。シャッタースピードは $\frac{1}{30}$ 秒になります。（フラッシュ撮影が済んだあとは、ASA環を回わしてもとのフィルム感度をセットしておくことを忘れないでください。）
- オリンパスPS200、PS200クイック、フラッシュCLは、カメラ上部のアクセサリシュー（コードレス接点付）に差込むだけで電氣的に接続しますが、一般のフラッシュガンやストロボを使用する場合は、アクセサリシューに差込みフラッシュの接続プラグをカメラのシンクロソケットに取付けます。

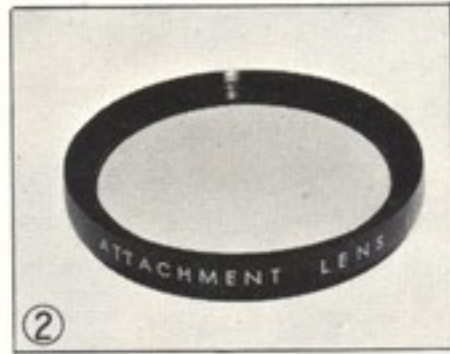
# 付属品をお揃え下さい

① オリンパスフィルター  
43.5mmねじ込み式  
UV、Y2、1A、81C、82C、  
ND4

② アタッチメントレンズ  
f = 30 cm、43.5 mm  
レンズの前にねじ込んで使用  
する近接撮影用補助レンズ  
です。レンズの前端より  
27.9cmまで近づけ、23.8×  
17.3cmの範囲が写せます。

③ オリンパスフラッシュCL  
AG-3Bタイプのバルブを使う  
超小型フラッシュガンです。

④ オリンパスクイックオート  
240 <電池別>  
ダイレクトコンタクト接点  
とシンクロコード接続両用  
のシリーズオートストロボ  
です。オート2段とマニ  
ュアル切替が可能です。  
●GN、24・ASA100・m ●  
電源、単3乾電池4本かF  
・ACアダプター(別売り)  
使用 ●大きさ・重量、95×  
90×57mm・210g(電池別)



⑤ オリンパスPS200  
⑥ オリンパスPS200クイック  
<電池別>  
超小型軽量ストロボでアク  
セサリーシュに差込むだけ  
で電氣的に接続します。  
●縦位置専用 ●ガイドナン  
バー14(m) ●アルカリ乾電  
池2本(PS200)、4本(PS200  
クイック)で200回以上発光  
●発光間隔7秒(PS200)、  
2.5秒(PS200クイック) ●  
大きさ・重量、31×55×64mm  
・75g(PS200)、32×73×71mm  
・95g(PS200クイック)

## ●特殊な撮影テクニック

露出はカメラまかせといっても、次のようにEEカメラでは良い結果に写らない特殊な場合があります。

1) 逆光撮影(光源へ向って撮影する)の場合

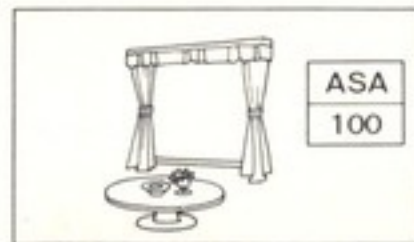


●ASAがそのままですと、人物は黒く陰になってしまっています。



●ASAを半分位におとすと、人物がきれいに写ります。

2) 暗い所から明るい所を撮影する場合



●ASAがそのままですと、部屋の中が写って外景が白っぽくなります。



●ASAを2倍位にすると、外景がよく写ります。

## ●カメラは大切に しましょう

- カメラには、ホコリや湿気が大敵です。保管する場合は、できるだけ乾燥した空気の流通のよいところにしまって下さい。
- レンズには指をふれないで下さい。もし指をふれてしまったら、すぐ清潔なノリのついていない木綿布で拭いて下さい。そのままにしておくと、指紋などがとれなくなってしまうです。
- 海岸で撮影したあとは、カメラの表面を柔らかい布で良く拭きとり、塩分などがついたままにしないで下さい。
- 鉄の箱やテレビやラジオのそばに長く置かないようにして下さい。
- カメラの具合が悪い場合は、すぐ最寄りのオリンパスサービスステーションにお持ち下さい。



## オリンパス・サービス・ステーション・ネットワーク

※日曜・祭日および土曜日は原則的に休みます。

東京151	東京都渋谷区幡ヶ谷2の43の2	☎ (377)2111
東京101	東京都千代田区神田駿河台3の4 龍名館ビル	☎ (251)9311
大阪542	大阪市南区塩町通り3の45	☎ (252)6981
名古屋460	名古屋市中区錦3の23の31 栄町ビル	☎ (961)0531
福岡810	福岡市中央区天神1の14の1 日本生命ビル	☎ (761)4466
札幌060	札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命ビル	☎ (231)2320
仙台980	仙台市中央1の2の3 駅前第1ビル	☎ (25)6821
横浜220	横浜市西区北幸1の7の2 横浜駅西口ビル	☎ (311)2041
広島730	広島市八丁堀16の11 日本生命第2ビル	☎ (28)3821
金沢920	金沢市尾山町3の25 住友生命金沢ビル	☎ (62)8257
新潟950	新潟市東大通り1の4の1 マルタケビル	☎ (45)1311
静岡420	静岡市追手町1の6 日本生命ビル	☎ (53)2135
高松760	高松市天神前10番5号 高松セントラルスカイビル	☎ (34)6166

## オリンパス光学工業株式会社

■当使用説明書の仕様・内容については予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。